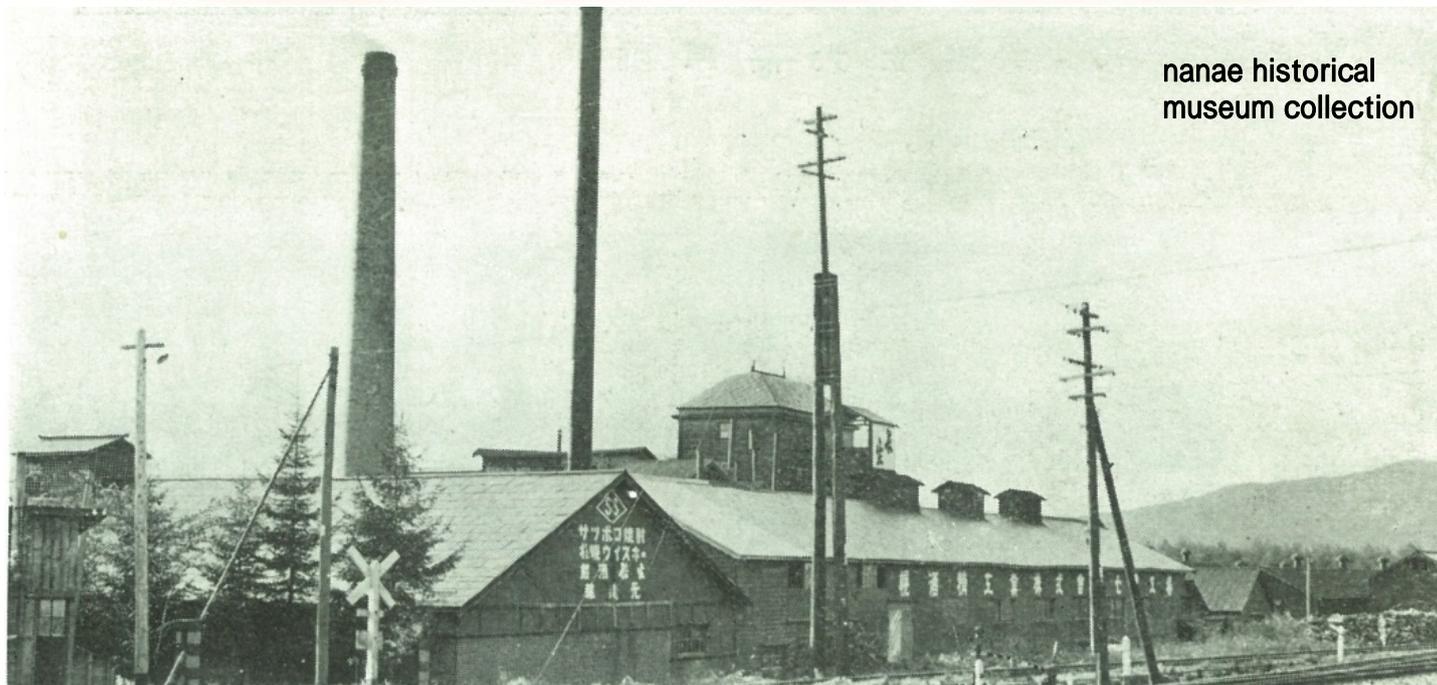


# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第144号



## ななえ古写真物語

VOL. 144

### 失われた煙突

札幌酒精工業株式会社七飯工場

昭和26年ころ

本町地区

今では想像もつかない景色だが、かつて七飯駅付近にあったという「札幌酒精工業株式会社七飯工場」の写真である。これは、1952年版の『七飯村政要覧』に掲載されていたものだ。

「ななえの工業」と題し、平成30年8月に発行したピチャリ第128号ではクレードルの缶詰工場として紹介した場所と同じと考えられ、その本文中には七飯町史の引用として、昭和35年に協和醗酵株式会社七飯工場が創設され、同年9月に札幌精酒株式会社七飯工場が買収したと記していたのだが、この写真の登場で、協和醗酵株式会社以前に札幌酒精株式会社が存在していたことがわかった。似た名前で別会社の可能性もあるが、おそらく「酒精」が「清酒」に、「~が買収した」が「~を買収した」という誤植だったと考えられる。改めてこの場を借りてお詫び申し上げたい。

この場所における焼酎製造の歴史が、さらに遡ることもわかった。大正12年、焼酎の製造工場として丸善菅谷合名会社が、この場所に工場を建設し800石（1石=約180）の焼酎を製造したのが始まりだったのだ。しかし、昭和12年に札幌焼酎株式会社（札幌酒精株式会社の前身）と合併。終戦後は、経営の合理化と品質の向上に努め、全国で唯一となる日化第三型式酒精蒸留機を設置し年間15,000石まで増産。工場の規模拡大や設備の近代化をはかり、道南産業の振興に貢献し「七飯の焼酎」として親しまれたという。代表的な銘柄としては君萬歳・小町娘・サッポロウイスキー・白鳩葡萄酒・鳩葡萄酒などがあった。「昔、この辺りの道路に使われなくなった丸善菅谷の焼酎ガメが並んでいたのを覚えている」という、当時を知る方の言葉が思い出される。その時は、頭にはてなマークを浮かべながら聞き流していたのだが、ようやく合点がいった。

整理をすると、丸善菅谷合名会社から札幌酒精工業株式会社、そして協和醗酵株式会社からクレードル興農株式会社へと変遷を辿り、今はそれらの煙突が失われたことになり、何よりも町史に誤植が多いということがわかった。

## 8日

町内の方は御存知かも知れません。桜町にある古刹「宝琳寺」。その裏手の墓地の中にあるのが箱館戦争戦死者の墓です。七飯の地において箱館戦争は、明治元年10月22日から24日の3日間にわたり峠下、七重、大川などで繰り広げられ、墓碑群は、その歴史を物語る場所でもあります。時折、お参りをしたいという町外の方に場所を聞かれることもあり、関心の高さが窺えます。この度、老朽化が激しい柵の補修を致しました。巡見など日々の小さな積み重ねが、文化財を守り、後世へと繋いでいきます。



## 16日

ジュニア探検クラブで、土を使って絵具づくりに挑戦しました。土を水にまぜてコーヒーフィルターで濾し、沈殿したものが絵具です。さらに以前収穫したイモを用いてイモもちづくりや収穫した大麦をフライパンで炒って麦茶作りにも挑戦し、昼ごはんに試食。午後からは出来上がった絵具で絵を描いたり、食と芸術の秋を満喫しました。



## 昔の道具体験

「昔の道具しらべ」で来館する小学校3年生の皆さんに体験してもらうための収蔵資料を紹介します。まずは石臼です。実際に触れて、構造や重さ、すり潰した珈琲豆の音や香りなどを五感で感じてもらいます。もう一つは薬研（やげん）。おもに漢方の薬種を細粉する道具です。握り手を持ち、すり潰すものは、麦茶などのお茶類。引率の先生も時間があるときは体験してもらいます。今年も活躍するこれらの道具を職員が自ら修理し、保管していくのも大切な仕事の一つです。



### 編集後記 ~tawagoto~

バードテーブルにヒマワリの種をおいている。飛んで来るのは、シジュウカラやヤマガラなどのカラ類ばかりだが、午前中に集まる様子を目の当たりにすると、なんとなく親近感が増す。朝、ヒマワリの種を持ってテーブルに近づくと、姿は見せないが何やら複数頭の地鳴きが響く。待ちきれずに、近くまで寄ってくる個体もいる。そのうち、顔で個体を判別できるのではないかと思うのだが、残念ながら、まだその域に到達できていない。(やまだひさし)

## 1月の予定

1	水	年末年始休館日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	企画展OPEN予定
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	夜の博物館
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	企画展ワークショップ開催日
20	月	ピチャリ145号発行予定
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	ジュニア探検クラブ
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

12月31日～1月5日は休館です。

### 歴史えほん

大人の入門編として楽しめる絵本。かこさとし著『万里の長城』はお薦めしたい一冊です。



# Pichari

～ピチャリ～

第144号

令和元年12月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp